

第14期（平成30年度）事業報告書

（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

主たる事務所の所在地 都城市吉尾町 473 番地の 1
名称 一般社団法人霧島工業クラブ
代表者氏名 代表理事 下森 康玄

1 事業の成果

平成30年度は、主な活動方針を①「KOSEN（高専）4.0 イニシアティブ事業」新教育システムへの協力支援 ②「モンゴル高専生の日本におけるインターンシッププログラム」への協力支援 ③地域連携テクノセンターの活用による地域活性化の推進 ④例会の充実 ⑤産学官の緊密なネットワークづくり ⑥組織の充実とし、事業を行った。

①については、平成30年度第1回都城工業高等専門学校新教育システム評議会が平成30年10月16日に開催され、岩佐校長による基本方針説明の後、高木グローバル農工学教育研究センター長により“KOSEN（高専）4.0”イニシアティブ事業の実施状況及び今後の予定について説明・報告があった。引き続き、平成30年度第2回都城高専新教育システム評議会が平成31年3月14日に開催され事業報告があり、当クラブからも評議会員のメンバーとして出席し、農工学の観点から地域へ貢献することや学生の英語力強化等について活発な意見交換がなされた。

また、平成31年1月度例会の特別講演会にて、都城工業高等専門学校グローバル農工学教育研究センター長の高木夏樹先生に「アグリエンジニアリングと社会実装をテーマとした教育・研究」という演題にてご講演いただいた。

尚、平成31年3月6日に開催された都城工業高等専門学校評議員会にも当クラブの下森代表理事が同評議員会評議員のメンバーとして出席し、都城工業高等専門学校の教育研究活動、地域貢献活動等運営に関する重要事項について、活発な議論が行われた。

②については、モンゴル国ウランバートル市のモンゴル-ジャパンセンターにて、モンゴルリエゾンオフィス主催のモンゴル3高専を対象とした「インターンシップセミナー」が2018年5月15日に開催されたが、マトヤ技研工業株式会社の益留社長が参加し、会社概要やインターンシッププログラムについて講演した。

また、平成30年夏季に実施された日本におけるインターンシップでは、当クラブ会員企業である（株）下森建装、えびの電子工業（株）、（株）サニー・シーリング、マトヤ技研工業（株）、（株）教育情報サービスの5社がモンゴル高専生8名を受け入れた。

国立高専機構は、中学卒業後から5年一貫で実践力を鍛える独自の教育システムをアジアの国々に展開し、現地で優秀な若者を育成することで、その国のものづくりを支援するとともに、人材獲得につなげるための新たな取り組みに乗り出しているが、昨年度から都城高専が幹事校となり、モンゴルの3つの高専に対して、教員の研修、実験・実習用機材の整備、インターンシップ等の教育支援を実施している。4年前、首都ウランバートルには、3つの高専が開校され、現在、およそ700人が学んでいるが、今回、モンゴルへの教育支援の一環として、宮崎県内の企業5社において、モンゴル高専生のインターンシップを実施したものである。

尚、今年6月に卒業するモンゴル高専生に対し、現在当クラブ会員企業であるマトヤ技研工業(株)、大淀開発(株)、(株)メタル・テクノ、(株)日南、(株)京都スパーサーの5社より求人票が提出されている。

③ については、平成28年4月より中小企業庁宮崎県よろず支援拠点都城サテライトが都城高専地域連携テクノセンターへ入居され、相談業務を開始された。当クラブ倉吉特別会員がコーディネーターとして在籍しておられるので、都城工業高等専門学校との共同研究も含め、様々な分野で連携して活動を行った。

平成30年10月3日には、公益社団法人宮崎県産業振興機構の常務理事である畠山幸子氏が当クラブ事務局に来られ、弊クラブ並びに都城高専との今後の連携・協力関係について意見交換した。

また、平成30年度都城市企業立地推進ネットワーク会議に、当クラブも商工分野の都城市企業立地推進ネットワーク会議委員として参加した。都城市企業立地課より企業立地の現状及び取組み、都城インター工業団地桜木地区の整備や都城市企業地優遇制度等についての説明があり、意見交換の後、懇親会にも出席した。

④ については、例会時に6回の特別講演を開催した。6月例会では、都城工業高等専門学校の岩佐健司校長先生に「都城高専の今と将来」と言う演題にてご講演いただき、7月度例会では、都城工業高等専門学校校長補佐(地域連携テクノセンター長)の高橋明宏先生に「技術士の特徴と役割」と言う演題にてご講演いただいた。9月度例会では、「九州未来アワード」(2015年)、「宮崎中小企業大賞」(2016年)、九州ニュービジネス大賞表彰(奨励賞)(2018年)等、数々の賞を受賞されている(株)教育情報サービス代表取締役の荻野次信社長に「地方から世界へ～小さな企業の大きな挑戦～」という演題にてご講演いただいた。12月度例会では、経済産業省九州経済産業局長の塩田康一氏に「九州の持続的発展に向けて」という演題にて、九州の強みや特徴を踏まえ、九州の持続的発展に向けた取組や方策等についてご紹介いただいた。1月度例会では、都城工業高等専門学校グローバル農工学教育研究センター長の高木夏樹先生に「アグリエンジニアリングと社会実装をテーマとした教育・研究」という演題にてご講演いただいた。3月度例会では、日本政策金融公庫宮崎支店中小企業事業の事業統轄である國司軒様に『最近の経済・金融情勢』という演題にてご講演いただいた。

また、平成30年10月31日に、下記の会員企業3社の企業視察研修会を開催した。視察を実施した3社の工場は、昨年操業を開始したばかりの最新工場であり、当クラブの建設業の会員企業が工場建設に携わっていることもあり、またとない見学する機会を頂いた。

(1) (株)日南宮崎総合研究所【西都市・宮崎県の立地企業】

自動車ショー等で展示される実物模型や試作品を製造する(株)日南グループ(本社：神奈川県)の製造拠点である(株)ウイント総合センターに研究施設を平成30年7月18日に新設し、特殊用途用ロボットや自走運転車両等の設計開発及びAIを活用した様々な用途の製品の開発を行っている。

(2) 宮崎日機装(株)【宮崎市高岡町の宮崎ハイテク工業団地・宮崎県の立地企業】

日機装(株)(東証一部)の子会社で、東京ドーム約9個分の敷地を有するグループ最大・最重要の生産拠点であり、世界の民間航空機市場をほぼ独占する航空機用部品「カスケード」をはじめ、エネルギー産業の将来を支える大型の特殊ポンプなど極めて専門性の高い日機装グループの主力事業を集結させる予定。総投資額は、2021年度末までに、総額約170億円を予定。約500名を予定。(平成30年10月15日に竣工祝賀会開催)

(3) (株)宮崎オーバル【都城市高城町】

流体計測制御の専門メーカーである(株)オーバル(東証一部)と電子機器製造会社である(株)吉河電機との合併会社として設立された電子機器製造会社であり、平成30年3月12日に高木町より移転し操業開始。各種オーバル流量計変換器、電子機器の生産、製造を行っており、品質システムに関する国際規格であるISO9001認証取得工場である。

企業視察・工場見学に引き続き、夜は交流懇親会を開催し、意見交換会を実施した。

⑤ については、都城高専地域連携センターと連携し活動を行った。

高専在校生向け就職支援講演会への会員企業高専OB・OG等の講師派遣(年4回：7/18株式会社オーバル、11/14ソーラーフロンティア株式会社、1/16株式会社内山建設、1/30 ヤマエ食品工業株式会社)、合同企業説明会共催(12/19 第一体育館)、インターンシップへの協力、ロボコン支援(10/17 内覧会)、おもしろ科学フェスティバル後援(11/18)、新規卒業生やUターン者の就職受け入れなどの連携ができた。

また、宮崎県の6大学・高専(宮崎大学、宮崎県立看護大学、宮崎公立大学、九州保健福祉大学、南九州大学、都城工業高等専門学校)が宮崎県と連携するとともに、経済団体等と協働し、学生の地元定着を推進する「みやざきCOC+」事業へ参加し、宮崎大学の地元定着推進室や地域資源創成学部との連携を強化することにより学生の地元定着を推進した。

⑥ については、会員企業数を平成29年度より2社増を目指し40社を目標としたが、実際には13社増え51社となり、地域におけるプレゼンスも増し、都城高専への協力支援体制もさらに充実し、産学官活動も活性化した。

2 事業内容

(1) 産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業（定款第4条1）

実施事業なし

(2) 工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業（定款第4条2）

都城圏域産学官金交流会の開催

都城圏域企業、大学、高等学校、高専、専門学校、職業訓練校、宮崎県、都城市の関係者が一堂に会し、意見交換を行った。

実施期日：平成30年7月5日 18:00~21:00

場所：ホテル中山荘

学校と企業との情報交換を実施

（企業関係者が学校のブース（テーブル）をあらかじめ決められた順序で、持ち時間の中で回る方式の第一部と自由に希望の学校のブース（テーブル）を回る方式の2部構成で情報交換）

出席者：参加者計143名

(3) 各種講演会及び研修会に関する事業（定款第4条3）

例会時特別講演

① 実施期日：平成30年6月1日

演題：「都城高専の今と将来」

講師：都城工業高等専門学校 第13代校長 岩佐健司氏 参加者44名

② 実施期日：平成30年7月24日

演題：「技術士の特徴と役割」

講師：都城工業高等専門学校 校長補佐 高橋明宏氏 参加者41名

③ 実施期日：平成30年9月10日

演題：「地方から世界へ～小さな企業の大きな挑戦～」

講師：(株)教育情報サービス 代表取締役 荻野次信氏 参加者37名

④ 実施期日：平成30年12月5日

演題：「九州の持続的発展に向けて」

講師：経済産業省九州経済産業局長 塩田康一氏 参加者100名

⑤ 実施期日：平成31年1月18日

演題：「アグリエンジニアリングと社会実装をテーマとした教育・研究」

講師：都城工業高等専門学校 グローカル農工学教育研究センター長
高木夏樹氏 参加者47名

- ⑥ 実施期日：平成31年3月11日
演題：「最近の経済・金融情勢」
講師：日本政策金融公庫宮崎支店 中小企業事業 事業統轄
國司軒氏 参加者 36名

(4) 会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業（定款第4条4）

- ① 高専ロボコン見学会
期日：平成30年10月17日（於：都城高専第一体育館）
内容：高専ロボコン九州大会出場実機の見学会
「ロボット及びメカトロに関する研究の奨学資金」目録贈呈
参加者 24名
- ② 企業視察研修会
期日：平成30年10月31日
視察先：1.（株）日南宮崎総合研究所【西都市・県の立地企業】
2. 宮崎日機装（株）【宮崎市高岡町の宮崎ハイテク工業団地・県の立地企業】
3.（株）宮崎オーバル【都城市高城町】
参加者：45名（大型バス1台貸切）

(5) 関係機関・団体との連携協調に関する事業（定款第4条5）

- ① 宮崎県産学官交流会
本県工業の振興、さらには地域社会の発展のため、県内企業や関係団体が、業種、業態等の相違にかかわらず交流を深めることを目的に開催
（一社）宮崎県工業会新会長（現旭化成株式会社延岡支社長）、宮崎県工業会専務理事、宮崎県産業振興機構常務理事、宮崎県工業技術センター所長、宮崎県商工観光労働部長や企業振興課長等と交流
共催：宮崎県、（一社）宮崎県工業会
後援：宮崎大学、都城高専、（一社）宮崎県商工会議所連合会等9学校団体
参加者：行政、商工、農林業、教育機関、金融、福祉等に携わる方
平成30年6月17日開催（於：宮崎観光ホテル）
- ②（一社）宮崎県工業会 県西地区部会 通常総会及び懇親交流会
（一社）宮崎県工業会の都城市を中心とする県西地区部会の会員企業26社との交流・連携強化
参加者：行政、商工、教育機関、金融、福祉等に携わる方
平成30年7月6日開催（於：メインホテル）
- ③ 第25回技術・研究発表交流会
産学官金等各機関による連携事業の推進を目指すことを目的とし、毎年「技

術・研究発表交流会」にて、地域交流講演会（宮崎県産学官連携コーディネート講演会、イノベーション共創プラットフォームセミナー）、宮崎県産業振興機構共同研究事業成果報告、ポスター展示、発表（ディスカッション）を開催

参加者：行政、商工、農林業、学術研究、金融等に携わる方

平成30年10月23日開催（於：宮崎市民プラザ4階）

④ 都城市企業立地推進ネットワーク会議

都城市の産業経済の活性化及び市民の雇用機会の拡大に向け、官民一体となった企業立地推進の取り組みとして、市の企業立地に関するPR力及び企業立地に役立つ情報収集力の強化を図ることを目的とする。企業立地の現状、取組、優遇制度の改正等、意見交換

参加者：行政、商工、農林業、学術研究、金融、インフラ等に携わる方

平成30年11月14日開催（於：メインホテル）

⑤ 都城志布志道路整備・活用促進大会

都城市が主催し、同道路建設促進協議会等が共催する都城志布志道路整備・活用促進大会には、宮崎県と鹿児島県の国会議員や行政、民間団体の関係者約1700人が参加したが、弊クラブも参加し、大会決議を採択後、全員でガンバローを三唱し、早期の全線開通に向け、気運を高めた。

参加者：行政、商工、教育、福祉、観光等に携わる方

平成30年5月19日開催（於：都城市総合文化ホール）

⑥ 都城市産業活性化講演会・交流会

都城市と都城市認定農業者等協議会が主催し、弊クラブを含む9団体が後援して、都城市の農業者と商工業者が一堂に会し、取り巻く社会情勢の課題と将来への展望を明らかにして、地域のリーダー・経営者として地域とともに発展することを目指して開催

参加者：行政、商工、農林業、金融等に携わる方

平成31年2月14日開催（於：メインホテルナカムラ）

⑦ 都城工業高等専門学校・就職支援講演会

都城工業高等専門学校ではキャリア教育の一環として、本科低学年生（1～3年生）を対象とし、高専OB・OGをはじめとする企業人を講師に招き、年4回就職支援講演会を開催している。特に、3年生は4年生の夏休みには全員インターンシップに参加することになり、翌年の春には実質的な就職活動が始まる為、なるべく早い時期から、企業研究をスタートすることが重要となってきており、弊クラブ会員企業より以下の講師を派遣した。

実施期日：平成30年7月18日

演題：「産業界において高専出身技術者が活躍するために大事なこと」

講師：株式会社オーバル 研究開発部 部門部長 小澤貴浩氏

実施期日：平成30年11月14日

演題：「ソーラーフロンティア株式会社で働くことの魅力」

講師：ソーラーフロンティア株式会社 国富工場 技術部 東祥吾氏

実施期日：平成31年1月16日

演題：「産業界において高専出身技術者が活躍するために大事なこと」

講師：株式会社内山建設 代表取締役 内山雅仁氏

実施期日：平成31年1月30日

演題：「働くことの意義」

講師：ヤマエ食品工業株式会社 開発部次長 出永直樹氏、前原夕紀氏

⑧ 都城工業高等専門学校・合同企業説明会

都城工業高等専門学校と弊クラブが共催し、平成30年度合同企業説明会を開催した。翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに4年生及び専攻科生の参加希望者を対象に、キャリア教育の一環として開催。

開催日時：平成30年12月19日（水）14:40～16:10（90分間）

場所：都城工業高等専門学校 都城高専第一体育館

参加企業数：26社

参加学生数：約200名

⑨ 都城工業高等専門学校・第6回おもしろ科学フェスティバル

都城工業高等専門学校が、小中学生を中心とした未来ある子どもたちに、科学のおもしろさを伝え、将来の日本の産業界を支えるための人材育成に寄与する目的で開催した「第6回おもしろ科学フェスティバル」を後援した。

開催日時：平成30年11月18日（日）10:00～16:00

場所：都城工業高等専門学校

協力：8社2団体

来場者数：約1,500名

⑩ 宮崎大学地方創生推進事業（COC+）への協力

宮崎大学が中心となり、宮崎県の6大学・高専（宮崎大学、宮崎県立看護大学、宮崎公立大学、九州保健福祉大学、南九州大学、都城工業高等専門学校）が宮崎県と連携するとともに、経済団体等と協働し推進する「みやざきCOC+」事業へ参加し、ワークカフェ等のイベントに参加した。

(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条6）

実施事業なし

3 処務の状況

(1) 役員に関する事項

平成31年3月31日現在

役 職	氏 名	所 属
代表理事	下森 康玄	(株)下森建装
副代表理事	東郷 彰	リブレ(株)
専務理事	久保 秀夫	(一社)霧島工業クラブ
理 事	津曲 洋一	えびの電子工業(株)
理 事	堀之内 芳久	大淀開発(株)
理 事	富吉 博文	(株)サニー・シーリング
理 事	川田 幸典	(株)匠
理 事	益留 福一	マトヤ技研工業(株)
理 事	朝倉 脩二	庄内まちづくり協議会
監 事	五十嵐 可久	都城木材(株)
監 事	米津 健一	日本情報クリエイト(株)

(2) 事務局に関する事項

平成31年3月31日現在

職 名	氏 名	備 考
事務局長	久保 秀夫	平成29年4月～
コーディネーター	朝倉 脩二	平成29年4月～
職 員	温水 裕子	平成20年1月～

(3) 会議に関する事項

①. 総会

開催年月日	会議の内容	出席者
平成30年4月25日	第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算報告承認の件 監査報告 第2号議案 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件 第3号議案 役員選任の件 第4号議案 役員報酬の件	38名 うち書面評決 14名

②. 理事会

開催年月日	会議の内容	出席者
平成 30 年 4 月 25 日	第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算報告承認の件 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 第 3 号議案 役員選任の件 第 4 号議案 役員報酬の件	8 名
平成 31 年 3 月 27 日	第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び収支決算見込みの件 第 2 号議案 平成 31 年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 第 3 号議案 役員報酬の件	8 名
平成 30 年 4 月 19 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 （株）鹿島	7 名
平成 30 年 5 月 11 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 （株）日南	7 名
平成 30 年 7 月 12 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 プロマ精工（株）・日東電工（株）	9 名
平成 30 年 7 月 18 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 碓山鉄工建設（株）	8 名
平成 30 年 9 月 26 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 （株）ニチワ・（株）教育情報サービス	6 名
平成 30 年 10 月 19 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 （株）内山建設	7 名
平成 30 年 11 月 6 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 （株）京都スパーサー	6 名
平成 30 年 12 月 27 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 ソーラーフロンティア（株）	8 名
平成 31 年 1 月 7 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 九州北清（株）	7 名
平成 31 年 2 月 4 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 メタウォーター（株）	6 名
平成 31 年 3 月 4 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 （株）興電舎	8 名
平成 31 年 3 月 13 日	第 1 号議案 新入会員承認の件 （株）シンコー	7 名